

令和7年度 園芸科「農業選択1 野菜」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸科 2年 A組
教科書	野菜（実教出版）	副教材等	日本農業技術検定《3級》テキスト (全国農業高等学校長協会)

1 学習の到達目標

野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付ける。

2 重点目標

- ・露地野菜（トウモロコシ・カボチャ・ダイコン・レタス等）の栽培方法について理解する。
- ・促成栽培、抑制栽培による経営的特徴と利点、欠点を理解する。季節と商物の成長の関係を理解する。
- ・播種から定植までの手順を理解し身につけるようにする。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	スイートコーンの栽培	栽培上の特性	優良苗を選び、定植する。(スイートコーン、カボチャ)	行動観察
		経営上の特性	作型と市況について学ぶ。	ワークシート分析
		作型と品種選び	整枝を行い、その技術を学ぶ。 病害虫の防除技術を学ぶ。	行動観察・結果確認 ワークシート分析
		栽培管理	交配を行い、その方法と原理を学ぶ。	行動観察・結果確認
5	商品価値を高める技術 栽培の評価	除げつ・除房を行い、その方法と効果を学ぶ。	行動観察・結果確認	
		病害虫の防除技術を学ぶ。 雄花除去を行い、その方法と効果を学ぶ。	ワークシート分析 行動観察・結果確認	
		トウモロコシを収穫・調整・販売する。 土壌診断を行う。	行動観察・結果確認 ワークシート分析	
6	復習 中間考査	前時までの学習内容を理解し、学習内容を整理する。	行動観察・結果確認 ワークシート分析	
		カボチャの栽培	誘引 生育の経過を観察する。	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析)
7	カボチャの栽培	経営上の特性	西洋カボチャと日本カボチャの違いを学ぶ。	ワークシート分析
		作型と品種選び	交配を行い、その方法と原理を学ぶ。雌雄異花の特性を学ぶ。	ワークシート分析 ワークシート分析
		栽培管理	追肥 果実の肥大変化について観察する。	行動観察・結果確認 ワークシート分析 行動観察・結果確認
		商品価値を高める技術 栽培の評価	収量と品質調査 後整理・次作準備を行う。	ワークシート分析 行動観察・結果確認
		復習 期末考査	前時までの学習内容を理解し、学習内容を整理する。	ワークシート分析
9	ブロッコリー・レタス・の栽培	ブロッコリー・レタス・の栽培 栽培上の特性	定植・土寄せを行い、その意義と方法について学ぶ。	ワークシート分析 行動観察・結果確認
		経営上の特性 作型と品種選び	ブロッコリーの栄養素と機械化による省力栽培について学ぶ。 花蕾の発育を観察、スケッチする。 花芽分化について観察する。	ワークシート分析 ワークシート分析
10	ブロッコリー・レタス・の栽培	栽培管理	りん翅目害虫の性質と被害状況を観察し、防除技術を学ぶ。	行動観察・結果確認
		商品価値を高める技術	予冷方法とその効果について学ぶ。 出荷時の規格、価格変動について理解し、収穫・調整を行う。	ワークシート分析 行動観察・結果確認

		栽培の評価 復習 中間考査	販売 収量と品質調査 前時までの学習内容を理解し、学習内容を整理する。	行動観察・結果確認 ワークシート分析
11	ハウレンソウ・ダイコンの栽培	ハウレンソウ・ダイコンの栽培 栽培上の特性	播種・間引きを行い、間引きの意義と方法について学ぶ。 花芽分化による品質の低下について学ぶ。	ワークシート分析 行動観察・結果確認
12		経営上の特性 作型と品種選び 栽培管理 商品価値を高める技術 栽培の評価 復習 期末考査	市況とそれに応じた作型の選定を行う。生育適性温度と抑制栽培について学ぶ。 品種特性を理解する。 りん翅目害虫の性質と被害状況を観察し、防除方法についてまとめる。 出荷時の規格、価格変動について理解し、果菜類の収穫・調整を行う。 販売実習 収量と品質調査 前時までの学習内容を理解し、学習内容を整理する。	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析 ワークシート分析
1	野菜類の育苗	育苗の目的と方法 育苗の意義と良苗の条件	土壌消毒を行い、土壌消毒の意義と方法、原理について学ぶ。 用土の種類について学ぶ。 用土の物理生について学ぶ。	行動観察・結果確認 ワークシート分析 ワークシート分析
2		育苗・苗生産の歴史と現状 育苗技術の実際と応用 育苗培地の種類と作成方法	加温の必要性を理解し、トンネルおよび温床の設置を行う。 育苗方法の種類を学び、本栽培に適した育苗方法を選定する。 用土を構成する資材の種類とその特徴を理解し、配合する。 施肥設計する。	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析
3		種まきおよび個々の育苗管理技術 復習 学年末考査	播種方法の違いと選定方法を学ぶ。 培養管理を行う。 発芽の様子を細かく観察し、鉢あげの時期を正確に行う。 温度、水管理、日照について学ぶ。 前時までの学習内容を理解し、学習内容を整理する。	ワークシート分析 行動観察・結果確認 ワークシート分析

4 評価の観点

知識・技術	野菜の生産と経営に関するプロジェクト学習を通して、野菜全体の生理・生態や生育環境などに必要な知識と技術、野菜生産の計画、管理、評価などの農業経営に関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。
思考・判断・表現	野菜の生産や経営に関して、生産技術や生産工程、経費や流通・販売方法などの生産や経営に関する課題を発見し、地域の農業経営の実践事例や農業生産が果たす社会的な意義と役割などを踏まえるとともに、環境への配慮や法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力が養われている。
主体的に学習に取り組む態度	野菜の生産と経営の学習を通して、農業生産が人々の暮らしを豊かにする素材を提供し、生活環境を創造するという社会的な役割を担っていることを理解し、品質と生産性の向上を図るとともに、安全で安心できる野菜の生産と経営を目指し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が養われている。

5 評価の方法

「知識・技術」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」，の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・出席を常にしてください。
- ・実習を伴う科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・ワークシート、小テスト、定期考査問題等を整理するために、糊、ハサミを各自で用意してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・ノート提出を定期的にもってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。